

○奥村富師「前走は速い時計に応じ、あの上がりを使えたことが収穫。涼しくなる形なら距気が付いている。いい時季にいい離も問題ない。いい相手に挑めます。」

【評価】GII→IIIで⑥⑩⑧着。

東京二四に実績もなく…。

④ **タイトルホルダー**
○栗田徹師「直前は無理せず時計が出ていたし、先週よりはだいぶ良くなっている。他馬の並びなどいろいろあるとは思うが、鞍上合って与えられた枠で頑張りたい。」
【評価】G1 3勝を挙げる屈指の実力馬。本調子ならば太刀打ちも可能。復調度が鍵。

○木村師』前走は晴れらしい走り良かつた。今週の稽古はいつも通り戻してくれています。応援態度も戻ってくれています。走り良くなる皆様に喜んでもらいたいと少しでも良い状態へもってこれるよう当日至しましてかり取り組んでいきたい。

【評価】現在世界ランク1位。
天皇賞(秋)は驚異的なレコードで圧勝。死角があるとすればレコードVの反動?

【評価】史上7頭目の牝馬三冠馬。三冠牝馬が同年のJC出走は過去3頭頭で①②③着。

▼テンショントリバティアイランド

確定後 直前情報

牡馬の斤量差2キロというの
は世界的に見ても牡馬に有利な
ルール。さらに年齢のアロ
ーワンスで計4キロ差。このア
ドバンテージは非常に大きい。

イクノンツクスVSRバテ
アーランドのジャパンカップが
沸いた20年もすごかったが、今
回も夢のような対決であり、出
紀の大一番になる。2頭(ワント
ルの馬券を握りしめて「どう
が勝つんだ?」)と直線の攻防、
注目すれば、最高におもしろい
ジャパンカップが見られそうだ。
問題はどちらが○で、どちらが
○にするかだが、総合的に優秀
に立つリバティアーランド○。

② 口一テ・上昇度
イケニーツクスは一戦集中型で、中3週も過去最短の間隔でおまけに前走の天皇賞秋は1分55秒2のスルバーレコード。楽勝とはいえ疲労はあるはずだ。逆にリバティアイランドは叩き良化型。同じ中5週で挑んだ阪オーネックスは大幅にバフボーランスを上げてきた。理想のローテで上昇度でも上回る。圧勝したオーネックスのラスト1Fは11秒5。最後までしっかり追ったのは、すでに強敵相手のジャパンカップを見据えていたからこそ。常に二手三手先を考へておられる陣営の精密な計画も合わせて、世界一の座を奪取する。昨年のオーネックス①着以来の東京二四で反撃を誓うスターブーズオーナースが3番手。3連単①点。【編集部・山下】

馬番連複オッズ											
1	[8]	536	7	374	16	999	12	999			
2	2.0		3	[8]	272	17	273	13	999		
3	32.8		4	893	9	407	18	999	14	999	
4	637		5	86.1	10	95.5	—	999	15	999	
5	27.5		6	999	11	999	9	882	16	999	
6	999		7	277	12	999	10	351	17	999	
7	98.1		8	87.2	13	999	11	999	18	999	
8	85.7		9	354	14	284	12	999	—	12	
9	136		10	108	15	990	13	999	13	999	
10	35.6		11	999	16	999	14	505	14	999	
11	999		12	999	17	93.5	15	999	15	999	
12	999		13	999	18	999	16	999	16	999	
13	999		14	180	—	6	17	284	17	999	
14	91.8		15	999	7	999	18	999	18	999	
15	71.0		16	999	8	999	9	—	13	999	
16	989		17	90.5	9	999	10	315	14	999	
17	24.0		18	999	10	999	11	999	15	999	
18	999		19	—	11	990	12	999	16	999	
19	—		20	5	999	12	999	13	999	17	999
20	—		21	5	999	13	999	14	999	18	999
21	12.7		22	6	999	13	999	14	775	18	999
22	4.269		23	7	999	14	999	15	999	—	14
23	11.4		24	8	999	15	999	16	999	15	999
24	6.499		25	9	999	16	999	17	344	16	999
25	7.403		26	10	999	17	999	18	999	17	260
26	39.0		27	11	999	18	999	19	—	18	999
27	9.527		28	12	999	7	11	999	19	999	15
28	12.9		29	13	999	8	475	12	999	16	999
29	11.703		30	14	999	9	668	13	999	17	999
30	8.841		31	15	999	10	380	14	270	18	999
31	7.737		32	16	999	11	999	15	999	—	16
32	34.9		33	17	999	12	999	16	999	17	999
33	29.7		34	18	999	13	999	17	102	18	999
34	6.548		35	19	—	14	836	18	999	—	17
35	10.4		36	6	999	15	999	11	—	18	999

1	2	3	4
1. 2.2	2. 510	3. 373	4. 255
3. 53	51. 4	5. 75.0	6. 117
3. 8.3	4. 75.7	6. 60.0	6. 240
4. 12.0	5. 60.2	6. 188	7. 168
5. 8.4	6. 77	11. 18	8. 93.1
6. 71.5	7. 107	8. 61.9	5.
7. 19.1	8. 67.0	9. 61.9	5. 247
8. 8.4	7.	6. 999	6. 342
8. 314	7. 650	7. 501	7. 98.7
8. 103	8. 373	8. 373	8. 373
① 4.1	⑥ 461	⑪ 909	⑯ 345
② 1.4	⑦ 61.3	⑫ 471	⑰ 19.7
③ 15.6	⑧ 27.9	⑬ 383	⑲ 157
④ 337	⑨ 73.4	⑭ 50.6	
⑤ 14.9	⑩ 26.0	⑮ 307	

これで勝負	
2	- 5
1	- 2
1	- 5
2	- 3
2	- 10
2	- 17
2	- 9

クノックス【7200】
は、完成期に達して自在性
を加えた現在、死角はごく
少ない。牝馬三冠を中心
G14勝のリバティアイラ
ンドとの対決は興味深い
が、日本ダービーを2分21
秒9で制した復調ドウデュ
スの脚質は一目でわかる。

日本
開業
医師
会員
登録
情報
システム

良さそうに走っている姿に
疲れは感じられません。オ
ーラクスから体力に不安もな
いリバティアイランド、人
気でも一騎打ちと見ます。

小木曾 太祐
BSスイーデン解説者

ジャパンカップ 過去10回の成績

開催地	馬番	馬名	性齢	斤	騎手	勝ちタイム	通過順	人	単勝	勝率
頭数						(着差)	順位	馬	馬券	馬券
東京3	7	ジェンティルドンナ	牝4	55	ムームー	2:26.1	3[3]	1(1)	210	
芝2400	9	デミアンフルボルビ	牝3	53	浜中	2:26.4	13[13]	7(7)	2500	
良17頭	7	トーセンジョーダン	牡7	57	ミヨシ	2:24.2	2[2]	1(1)		
14東京	4	エビフライネイ	牡4	57	ミヨン	2:23.1	2[3]	4(4)	890	
芝2400	11	ジャッカルウェイ	牡5	57	福永	4:08.8	8[B3]	3(4)	4120	
良18頭	5	スピルバーグ	牡5	57	北村宏	2:26.5	16[16]	6(6)	7800	
15東京	5	ショパンハンドラ	牝4	55	池添	2:24.7	9[B3]	4(4)	920	
芝2400	6	ラストインパクト	牡5	57	ムーア	2:26.1	7[B3]	1(1)	10160	
良18頭	1	ラブリーデイ	牡5	57	川田	2:26.6	6[B5]	1(1)	18510	
16東京1	1	キタサンブラック	牡4	57	武 豊	2:25.8	11[11]	1(1)	380	
芝2400	2	サクソボンボアース	牡5	57	デムー	2:24.7	9[B3]	5(5)	25	
良17頭	7	ショウガクラン	牡4	57	福永	2:26.9	12[B2]	6(6)	3990	
17東京	3	シリヴァーラグ	牡5	57	波戸	2:23.7	4[4]	6(6)	1330	
芝2400	2	レイデオロ	牡3	55	マルメル	14:09	9[9]	7(2)	1770	
良17頭	4	キタサンブラック	牡5	57	武 豊	2:25.8	11[11]	1(1)	5250	
18東京	1	アーモンドアイ	牡3	53	ルメール	R2.20.6	2[2]	2(2)	140	
芝2400	8	キセキ	牡4	57	川田	13:00	11[11]	4(4)	590	
良14頭	11	スワーヴリチャード	牡4	57	デムー	3:54	14[4]	2(2)	700	
19東京	5	スマートリチャード	牡5	57	マーヴ	2:25.9	7[B3]	5(5)	510	
芝2400	1	カレンブーケドール	牡3	53	津村	3:54	12[2]	5(5)	2900	
重15頭	2	ワクドリアン	牡4	57	川田	14:06	16[B2]	2(2)	4810	
20東京	1	アーモンドアイ	牝5	55	ルメール	2:23.0	5[14]	4(4)	220	
芝2400	6	コントレーリ	牡3	55	福永	14:09	9[9]	2(2)	330	
良15頭	5	アーリングタクト	牡3	53	松山	7:07	7[7]	7(7)	610	
21東京	2	コントレイル	牡4	57	福永	2:24.7	7[B8]	1(1)		
芝2400	7	オーリーティ	牡4	57	マルメル	2:45	2[2]	5(3)		
良18頭	3	シャプローヤール	牡3	55	川田	13:05	6[5]	2(2)	670	
22東京	6	ヴェルテイブル	牡5	57	ムームー	2:23.7	10[10]	10(10)		
芝2400	5	シャリーヤール	牡4	57	デムー	2:24	14[4]	2(2)	1(1)	940
良18頭	3	ヴェルトライゼン	牡5	57	レーン	2:55	14[4]	4(4)	1920	

①馬連平均：2640円
②人気：5122
③人気：(0235)
④連対1頭が⑤人気以内。

②年齢連対数
③歳：3歳、4歳＝8、5歳
④で、6歳上：(00149)
⑤牝馬は：(42118)。

○その他【1連対】
○東京でG1勝ちあり。外国
馬は(00017)：該當なし

◆ヒント◆リバティアイラン
ドが逆転。(1)→(2)(3)(5)(9)(10)(14)

○国内G1【13連対】
○東京G1か四上G1で④着以内あり。休み明けは割り
引き：①(2)⑤⑩

○国内GII【6連対】
○G I (1)②着があるか、
人騎手が騎乗：③⑨⑯

▼06年のデイリーブラックト以降、日本馬が17連勝。かつて③着まで単占が6回も続いた今年のジヤバンCは波乱が少ない。リバティア、アイランド、タイトルホルダーなどの父ドゥラメンテの祖母はエアグルーヴ。同馬が連続で快走した90年代後半以降、上位③番人気までの3頭で①②③着、独占が6回もある。▼また、目下唯一6回連続して⑤番人気以内の3頭の組み合わせ馬券が続く順当なG1であり、ジヤバンC史に残る名馬が快走する。と、順当な結果になる。▲イクノックス、リバティア、イランドはこれに該当する。

トのハナ差(2着)が、そのとき4歳でのハーツダックライ(今年3月22歳でのハーツダックライ)産駒のドウデュースは2分21秒9で、04年に父か②着だった日本ダービーを制覇。ダービーレコードだから価値がある。

②着イクノックスは、当時4戦目でまだ未完成だった。▼だが、ドウェインズしての的中は父と同じよう3歳後半からしばらく伸び悩みの期間がある。でも、4歳以降に本物になる成長曲線を描くことが多い。戸崎騎手とは2度目。今回は仕掛けの機を変えるはずだ

東京	12R
3連複	上位人気
1 2 17	6.6
1 2 5	7.1
1 2 3	7.4
1 2 10	8.2
1 2 14	22.0
1 2 8	26.0
2 10 17	30.7
2 3 5	31.0
2 5 10	31.4
1 2 9	33.1
1 2 7	33.4
2 5 17	36.3
2 3 17	36.9
2 3 10	39.5
1 3 5	76.5
2 3 8	79.0
1 3 17	80.2
2 3 14	81.6
2 14 17	85.4
1 5 17	86.6
1 10 17	92.2
1 5 10	95.0
2 10 14	95.4
2 5 14	97.2
1 3 10	106.9

最高タイムランキング

東京12R
丸開みは差順

一千のジ

副教役の馬体重 ① 484(水) ⑩ 502(水)

上位人氣	上位人氣
7 12 4	12 6 6

2.21.9	ドウデュース	良①東京22年5月
2.21.9	イクイノックス	良②東京22年5月
2.22.3	ダノンベルーガ	良④東京22年5月
2.23.1	タイトルホルダー	良⑥東京21年5月
2.23.1	リバティアイランド	良①東京23年5月
2.23.7	ヴェラアズール	良①東京22年11月
2.23.9	スターズオンアース	良①東京22年5月
2.23.9	ショウナンバシット	良⑦阪神23年9月
2.24.7	チエスナットコート	良⑦京都19年10月
2.25.0	ディープボンド	良⑤東京20年5月
2.25.0	トラストケンシン	良⑬東京22年11月
2.25.6	インプレス	良①阪神22年10月
2.26.4	ワインエアフォルク	良⑦東京22年2月
2.28.8	スタッドリー	稍⑦東京23年5月
2.32.3	イレジン	良③仏国21年9月

の天皇賞(秋)勝ち馬は同
ヤバンC〔4 4 7 9〕。
〔0 0 1 1〕、4歳〔3
、5歳〔1 1 3 5〕と
ら好走確率は高く、特に
秋を0秒1差以上で勝
成馬は〔3 2 2 2〕。
はミスター・シービーとサ
クカオード、そもそも日
シャパンCを勝つこと自
然なら①③着
ティアイラン
馬券は2頭を
連単①②
京阪杯
57キロ以下
り芝千二なら
イシンスボッ
3連複⑥

3	14.3	[1] 3	48.0
0	14.9	[1] 5	40.1
1	15.7	[1] 7	139.0
1	26.1	[1] 8	111.1
1	27.3	[1] 10	45.1
7	27.4	[2] 1	35.5
0	30.8	[2] 1	3.1
1	30.8	[2] 3	8.7
3	30.9	[2] 5	13.0
1	31.9	[2] 7	49.9
5	33.9	[2] 8	41.8
4	39.5	[2] 9	56.7
3	57.4	[2] 10	12.9
0	61.1	[2] 14	38.5
9	61.7	[2] 17	11.4
7	63.8	[3] 1	94.9
2	69.4	[3] 2	55.3

《美浦の新坂路について》

全長1200m(計測可能距離800メートル)、幅12m、高低差33m(従来からプラス15m)、最大勾配3%。馬場素材はアカマツとスギをチップ状に破碎したものを使用。旧坂路はスタート地点が平坦だったが、新坂路は最初から2.0%の登り勾配がある。

〔1〕二三番牡馬の4歳の天皇賞馬も三冠牝馬リバモアも信頼度抜群
〔2〕②着に固定して〔3〕(4点)

7	74.7	5	1	76.6
3	76.6	5	2	38.9
4	77.0	8	2	135.6
7	77.2	10	1	86.3
7	79.1	10	2	60.7
5	81.7	17	1	77.5
0	82.0	17	2	50.5